

令和4年7月 20 日

関係各位

第43回ハンセン病医学夏期大学講座
運営事務局

「ハンセン病医学オンライン講座 -第43回ハンセン病医学夏期大学講座-」
開催のご案内

謹啓 盛夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ハンセン病は、国内での新規患者は数名ですが、世界的には現在でも13万人(2020年)の新たな患者の発生がみられています。

平成13年5月25日に、ハンセン病国家賠償訴訟の判決を受け、小泉総理大臣(当時)は、「ハンセン病患者に対する施設入所施策や一般社会において極めて厳しい偏見、差別が存在してきた事実を深刻に受け止め、ハンセン病問題の解決に向けて全力を尽くす決意」を談話の中で表明しました。

また、平成21年4月1日には、ハンセン病患者であった方等の福祉の増進、名誉の回復等のための措置を講ずるため、「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が施行されました。

このようにわが国では、ハンセン病問題は医療上だけでなく、社会的な問題も含んでおり、それらを解決していくためには政府のみならず、国民一人一人が、ハンセン病に関する理解や認識を深めていくことが重要と考えます。

「ハンセン病医学夏期大学講座」は、医学、歯学、薬学、看護学及び医療福祉、医療技術を学ぶ学生や医療関係者の皆様方を対象に、ハンセン病に関する最新の知識や国際協力の現状、将来展望などをお伝えすることを目的として、毎年度開催しております。

第43回目となる令和4年度においては、別添のポスターのとおり、オンラインにて開催する運びとなりました。本資料を貴機関の学生はじめ、医師、看護師その他の医療関係者の皆様方にご周知にいただければ幸いです。

敬 具

お問合せ先:

国立ハンセン病資料館内ハンセン病医学オンライン講座事務局

担当: 笹川保健財団 千代倉・及川

メール: info@nhdm.jp

電話: 042-396-2909 (火曜日～日曜日 9:00-17:00)

オンラインにて開催

ハンセン病医学

オンライン講座

ハンセン病医学の基礎から臨床まで

【第43回ハンセン病医学夏期大学講座】

2022年8月27日(土) 9:00-17:00

ハンセン病に関する最新の知識や
国際協力の現状、将来展望などをお伝えします。

対象：医療関係者ならびに医療系学生

プログラム

9:00	主催者挨拶：簗原 哲弘（厚生労働省 健康局 難病対策課 課長）
9:05-9:55	らい菌の生物学とハンセン病の免疫応答：阿戸 学（国立感染症研究所ハンセン病研究センター 感染制御部 部長）
10:00-10:50	ハンセン病の臨床：山崎 正視（国立療養所多磨全生園 皮膚科医長）
10:55-11:45	WHO ハンセン病制圧プログラム：四津里英（チュレーン大学熱帯医学校・准教授）
11:45-12:45	お昼休憩
12:45-13:35	ハンセン病の歴史：森 修一（国立感染症研究所ハンセン病研究センター 感染制御部 第7室主任研究官）
13:40-14:30	回復者の証言：藤崎 陸安（全国ハンセン病療養所入所者協議会 事務局長）
14:35-15:25	ハンセン病看護とケア：菅谷 恵美（国立療養所多磨全生園 看護師長）
15:30-16:00	国内の新規ハンセン病症例から
16:05-16:35	海外におけるハンセン病医療の現状
16:35	総合討論
17:00	閉会

申し込み方法

Zoomウェビナーよりお申し込みください。（下記 URL または右記 QRコード）

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_OBmuqa2XQ52VuvjYrWwHKw

主催：厚生労働省

お問い合わせ：国立ハンセン病資料館内 ハンセン病医学オンライン講座事務局
042-396-2909（火～日 9:00-17:00） info@nhdm.jp

